

北海道新聞

発行所
北海道新聞社

郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
©北海道新聞社 2012

号外

インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp

ご購読申し込みは
0120-464-104

略歴 いしやま・ひでお 松前町出身。松前高卒業後、74年に町役場入り。財政、水産、農林の各係長を務め、05年から議会事務局長。3月1日に辞職した。妻、母と3人暮らし。

松前町長に石山氏

千400票差 松尾氏破る

【松前】任期満了に伴う松前町長選は8日投票、即日開票の結果、新人の前町議会事務局長、石山英雄氏(56) 無所属

が、新人の前副町長、松尾祐三氏(68) 同を破って初当選した。石山氏は2期8年務めた前田一男町長を引き継ぎ、高



激戦を制し、支持者と万歳をして喜ぶ石山英雄氏(右)

8日午後9時10分ごろ(石川崇子撮影)

◆松前町長選開票結果

当	3743	石山	英雄	無新
	2322	松尾	祐三	無新

齢化、過疎化対策や基幹産業の漁業、観光の立て直しなど多くの課題に取り組む。

当日有権者数は7753人、投票者数は6119人だった。投票率は78・92%で、無効票は55%。

両候補とも新人で、町役場出身。石山氏は漁業者の強い支持を受け、組織的な選挙戦を展開。出身地の静浦や江良など漁業地区の票を手堅くまとめた。松尾氏は知名度と行政経験で町中心部の商工業者をはじめ幅広い層の支持を獲得したが及ばなかった。

当選が決まった石山氏は8日午後9時ごろ、町内の旅館で集まった支持者と抱き合い、喜びを爆発させた。目を赤くしながら「いろいろな課題があるが、町民の皆さんの先頭に立って松前町のかじ取りをしていきたい」と抱負を語り、支持者から「がんばれ」という歓声と拍手が起きた。

わずか1カ月余りの短期決戦だったが、石山氏にとってには長く苦しい戦いだっただけに違いない。

38年間勤めた町役場を辞職し、立候補を表明したのは告示33日前の3月1日。すでに大先輩と仰ぐ前副町長の松尾祐三氏が名乗りを上げ、2001年の町長選以来、4回連続の無投票と目される中での決断だった。「無投票で町民の声が届

くのか。自問自答し、あえて大先輩に挑戦する道を選んだ」という。家族や周囲からは止められたが、決意

は揺るがなかった。漁業地域の静浦に生まれ、離島小島でコンブ漁を営む父を手伝いながら育つ

漁業への思い人一倍

過疎化を食い止めて

希望を持てる松前に



た。漁業への思いは人一倍強く、町職員生活で一番の思い出に残っているのは漁港整備。漁業者の要望を計画に乗せるため、何度も浜に足を運んだ。「漁師にはいつも叱られたが、やりがいがあった」と振り返る。選挙戦で力になったのは、その漁師たちだった。

町の漁業水揚げ高は減少傾向が続き、60年代には2万人を超えた人口も昨年末、9千人を割り込んだ。選挙戦では「町の活気を取

り戻してほしい」という町民の切実な声を聞いた。「愛する松前の過疎化を何とか食い止め、次世代が希望を持てるような町にしたい」

町長就任後は漁港を活用した養殖など「作り育てる漁業」に力を入れるつもりだ。2015年度の北海道新幹線開業に向けた観光推進、松前城天守閣の老朽化、中学校改築など課題は多岐にわたる。「やりたいことは山ほどある。『攻めの町政運営』をしますよ」

過去の松前町長選挙

●1991年	梶谷 康介	無新	4451	当
	近藤 忠夫	無現	4133	
●1995年	小坂 清治	無新	4350	当
	梶谷 康介	無現	3834	
●1997年	松村 明夫	無新	5051	当
	梶谷 康介	無元	3197	
	奈良 文夫	無新	121	
●2001年	松村 明夫	無現	(無投票)	当
●2004年	前田 一男	無新	(無投票)	当
●2008年	前田 一男	無現	(無投票)	当